衛生管理者免許試験　公表問題

労働衛生（有害業務に係るもの以外）

① 温熱条件
② 視環境
③ 必要換気量
④ 快適職場
⑤ 労働安全衛生マネジメントシステム
⑥ 腰痛予防対策
⑦ 受動喫煙防止のガイドライン
⑧ 食中毒
⑨ 感染症
⑩ 情報機器作業
⑪ 労働衛生対策
⑫ 健康保持増進
⑬ メンタルヘスル対策
⑭ エイジフレンドリー
⑮ 健康診断の検査項目
⑯ 労働衛生管理統計
⑰ 脳血管障害・虚血性心疾患
⑱ 一次救命処置
⑲ 出血・止血法
⑳ 熱傷
㉑ 骨折

新潟ウェルネス
一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会

【平成 29 年 4 月】

熱傷の救急処置などに関する次の記述のうち、**誤っているもの**はどれか。

（１）熱傷は、Ⅰ～Ⅲ度に分類され、水疱ができる程度の熱傷は、Ⅱ度に分類される。

（２）水疱ができたときは、周囲に広がらないように水疱を破って清潔なガーゼや布で軽く覆う。

（３）熱傷面は、すぐに水をかけて十分冷やすことが応急手当のポイントであるが、熱傷の範囲が広い場合、全体を冷却し続けることは低体温となるおそれがあるので注意が必要である。

（４）衣類を脱がすときは、熱傷面に付着している衣類は残して、その周囲の部分だけを切りとる。

（５）45℃程度の熱源への長時間接触による低温熱傷は、一見、軽症にみえても熱傷深度は深く難治性の場合が多い。

▶▶解説◀◀

（１）（３）（４）（５）正しい

（２）**誤り**：水疱は破らないようにし、清潔なガーゼや布で覆う。

＊解答＊　（２）